

# 「きたかみ世界塾」

学校名

岩手県立黒沢尻北高等学校

きたかみ世界塾は、主体的に地域課題をとらえ、それを解決するためのアクションを考え、発信することで、社会・世界を「ジブンゴト」としてとらえ、自ら学び・行動する人材を育てることを目的としている。

## 1 自ら学ぶこと

自ら課題をとらえ、それを検証し、解決に向けたアクションを検討する。このプロセスをチームで共有し、議論をする中で、地域の課題を「ジブンゴト」として考え、行動する視点を学ぶ。

## 2 課題をとらえること

課題とは、現状から目指すべき未来を考えたときに生じるギャップをさす。

地域の「目指すべき未来とは何か」から「そもそも何が課題か」を検討するプロセスを学ぶ。課題と手段を分け、課題を的確にとらえてアプローチする原点を見つけることで、学ぶ力を高める。地域社会の「リアルな課題」と向き合い、「ジブンゴト」として考える視点を学ぶ。

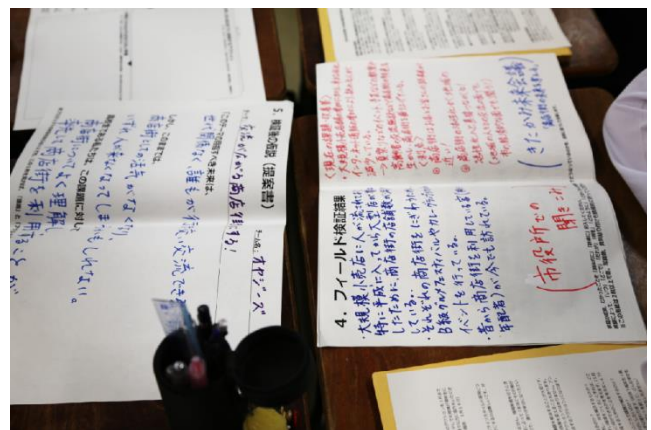
## 3 活動内容

### (1) 1 学年

- ① 各自「北上市の課題」を考え、クラス毎・テーマ毎にチーム作り。

〈ここからはチーム毎の活動〉

- ② 課題について、仮説を立てる。
- ③ 仮説の検証（夏休み）
- ④ 検証報告（文化祭）
- ⑤ 検証結果を踏まえ、「地域の課題」の再設定。
- ⑥ 課題解決のためのアクションを考え、実践する。（冬休み終了時まで）



⑦ アクションの結果報告（クラス発表会・全体発表会）

※課題設定・検証方法・アクションへのアドバイス等、メンターさん（北上市役所等、専門の方々）にご協力頂きました。



(2) 2 学年

地域課題解決にむけた実践力を高める活動（主に前期）と、自分が将来探求したいことを具体化・深化させる活動（主に後期）の 2 本立て。

「地域課題解決にむけた実践力を高める活動」

- ① 地域の課題の仮説設定、企画作成、クラス内企画コンペ、チーム分け
- ② 夏休みにチームごと探究活動
- ③ 文化祭で成果発表（来場者にイイね！企画パネルにシールを張ってもらう）

「自分が将来探求したいことを具体化・深化させる活動」

- ① 夏休み前に、自分の将来についての仮説を探究する計画を練る。  
（オープンキャンパスに仮説をもって参加する）
- ② 学びたいことを深化していく。

→一緒に探求したい大学の教員や研究者を見つけ、最終レポートを作成する。

(3) 3 学年

特別講演会【講師：高橋博之（特定非営利活動法人 東北開墾代表理事）】

「都市と地方をかきまぜる～社会のものさしが変わるいま、必要なこと～」

※ 講演を聴いて、レポート作成。